

## ■■認定校だより【中央工学校】■■

中央工学校は明治42年東京都神田にて創立し、建築・機械・電気、その後土木測量を加え4学科によってスタートしました。以来校是である「堅実」の精神を守り、実践を重視した教育を行ない中堅技術者の育成を目指し、現在は東京都北区王子の校舎において、建築系学科、デザイン系学科、土木・測量・造園系学科、機械CAD系学科、国際情報系学科の5学科からなります。一貫して「誠実で豊かな社会性を有する技術者の育成」を掲げ、「厳しい実務教育」と「人間涵養教育」で推進しています。

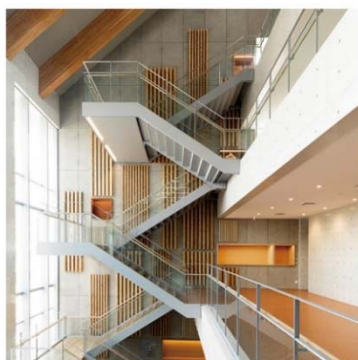
建築系学科では、建築学科（4年制）、建築工学科（3年制）、以下2年制となる建築設計科、木造建築科、建築設備設計科、建築室内設計科、夜間建築科の7科の構成からなり、それぞれの科の特徴に合った演習及び実習のカリキュラムになっています。卒業までの最終目標は、即戦力として建設業界に輩出することで、専門学校の役割を果たしております。

建築系学科の取り組みの一部ですが、①軽井沢合宿研修（中央工学校全科対象）、②施工管理実習、③地域密着型実践教育の3つを紹介させていただきます。

### 建築系学科の取り組み



新3号館外観



新2号館エントランスホール



キャンパスプラザ

#### 1、軽井沢合宿研修

「人間涵養教育」の実習として軽井沢合宿研修があります。この研修は2泊3日で毎年全員が参加し、そこで、集団生活の中での規律の重要性を認識し、協調性を踏まえたうえで、自主性・積極性を養うことを目的に実施しております。また研修では、時間厳守と整理整頓を軸にして、茶道、研修所在伝統建築見学などの日本文化にふれることで、感性を磨き、社会性豊かな技術者の育成を目指しております。



茶道研修



能舞台の説明



三五荘(古民家)スケッチ

## 2、施工管理実習

実践教育を視野に入れた実習を行っています。

学生が卒業後即戦力として活躍の一助となるように、構造の基礎の理解及び図面の読み方・施工管理のポイント、また建築測量の基本と応用力を実習によって習得します。更にステップアップとして、東京都職業能力開発協会 厚生労働省「若年技能者人材育成支援等事業」ものづくりマイスター等の派遣講師による実技指導を受けて、各種工事の実習も実施しています。

### 墨出し・鉄筋組み立て実習



墨出し



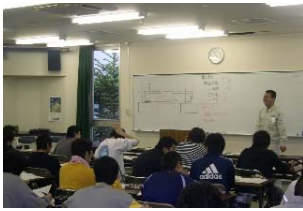
ベース筋配筋



鉄筋組み立て実習全景



柱筋組み立て



建築積算の数量算出



建築積算の数量算出  
学生が計算を解く

### 木工事・瓦工事实習



屋根小屋組み立て



和瓦葺き



和瓦葺き (棟瓦)

### 内装工事



フローリング張り



Pタイル張り



表装張り

## 左官・タイル工事实習



左官：壁モルタル塗り



タイル：張り付けモルタル塗り



タイル：圧着工法

建築積算士補制度の認定を受けてから本年度で13年目となり、多くの建築積算士補の登録者を輩出してきました。

「建築積算」の授業では、建築生産プロセスにおける建築積算や建築数量積算基準に基づいた計測計算を中心に行なっています。建築積算の教科は、①建築意匠図と構造図の読み方を習得できること、②施工に関する工法・品質管理と一般構造についての理解を深められることなど、他教科間との一貫性のある学習ができることです。それらの理由で数量算出の演習にける授業時間を多くとっています。しかし、数量の算出をするに当たって、部位を立体的にイメージすることが難しいため、画像で建築施工現場を見せたり、部位の一部を実習で組み立てたりしています。

在学中に建築積算士補から建築積算士へのチャレンジは、実践的な教育を行なうために最も適していると考え、推奨している資格試験です。

### 3、地域密着型実践教育

民間企業と連携し、地域に要求される機能を追及し、実社会との触れ合いを通して、学生の社会性を育成することを目的とした地域密着型実践教育を実施しています。

金融機関様に近傍で建設計画のある建築主をご紹介いただき、法規制に照らし合わせて建設可能な提案をグループ課題として取り組む、実践的なプログラムです。学生自身が建築主への聞き取り調査や敷地調査を経て、計画・設計を行い、建築主と金融機関様の全支店長をお招きしてプレゼンテーションを行っています。



建築主に対する全体プレゼンテーション



建築主に対する個別プレゼンテーション

中央工学校教務部建築系学科

担当教員 : 青野 淳一(中央工学校教員)

担当科目 : 『施工積算』

中央工学校 HP : <https://chuoko.ac.jp>